



「食べるでつながるプロジェクト」

医師・医学生担当 佐藤 詩子

歯科酷書学習会 ～医学生編～



「食べるでつながるプロジェクト」とは少し違う視点からではありますが、医学生で口からみえる健康格差について学習会を行いました。それについて紹介をさせていただきます。

今年の愛知民医連の医学部奨学生の学習テーマは【健康格差】。2ヶ月に1度集まって学習を勧めています。その中で、全日本民医連歯科部が今年発行した【歯科酷書第3弾】の冊子を目にして、「なぜ貧困が口に現れるのか。学びたい」という声が上がリ、北生協歯科の久野医師とみなと診療所歯科の橋詰医師を迎え、8月29日(水)ワイワイルームで学習会を行いました。学生5名、他医師、医学対職員も参加し学び合いました。感想からは、「なぜ、貧困が口に現れるのかがよく分かった。内科医師も小児科医師も口の中を見る機会が多い。その時に、病気の症状だけではなくその人の生活背景、社会的背景に気づくことのできる医師になりたい。」「歯科連携について、さらに学んでいきたい」と自分たちが医師になった時に何ができるのかをしっかりと考えている姿に、頼もしさを感じました。



.....次回12月号は.....

11月17日(土)に行われます「食べるでつながるプロジェクト」講演会について掲載いたします。ぜひ、ご参加もお待ちしております！

お問い合わせ／食べるでつながるプロジェクト委員会

北病院 甲斐
(052) 915-2301

わかばの里 玉越・北原
(052) 914-4121

北生協歯科 小池
(052) 915-7710